

～男女共同参画社会の実現に向けて～



幸手市のマスコット  
さっちゃん

# モア MORE

ひとひと  
幸手市女と男の情報紙  
第17号 2012

モア(MORE)とは、女と男がより豊かに、よりすばらしい男女共同参画社会実現への願いを込めて命名しました。



～「女と男の絆」～

ひと文字ファッションデザイナー  
書家 かんち さん創作



仕事と子育てを両立しやすい職場  
環境に取り組んでいる企業認定マ  
ーク (愛称:くるみん)

特集 森圭一郎コンサート	2
日本女性会議2011松江	3
出会いふれあい思いやり	4
男女共同参画情報コーナー	5
ときめき感動の時	5
輝きコーナー我が家の場合	6

# 特集 車椅子のシンガー 森 圭一郎 コンサート



## ひとひと 女と男の共生セミナー in 東中学校

幸手市男女共同参画推進協議会主催の「女と男の共生セミナー」は、平成23年12月1日（木）、幸手市立東中学校の協力により、車椅子のシンガーソングライター森圭一郎さんを招いて「歌うことは生きること」をテーマにコンサートを開催しました。

森さんは、1978年熊谷市生まれで、中学生のころから不良グループに入り、15才で暴走族に加わりました。高校1年生の時バイク事故により脊髄を損傷し、下半身不随となり車椅子の生活になりました。リハビリ生活の中で、生きることや勉強の大事さ、相手を思う心等々、森さんの歌の中に生まれる詩とトークが東中学校の生徒の胸に感動を与えました。

### 「生徒の感想から」

事故を通して痛感した、歩けないことの不自由さやいままで通りの生活ができない苦しみ。しかし、そこで出会った高校でのバンド。

森さんがやっと変わった瞬間でした。～『あなたを必要としている人が1人でもいるということを忘れないでほしい』～とても感動することばです。

自分がやりたいことをきちんとみつけれられるか。それを私たちは今 みつけようとしているか。いろいろ考えさせられました。 3年 中田真琴さん（原文通り）

## 男女共同参画アンケート結果から

東中学校生徒の皆さんに、アンケートを実施しました。（回答者数183名/男女比男59%女41%）ご協力ありがとうございました。

今回の男女共同参画に関するアンケートは、2008年（3年前）と比較する観点から実施しました。私たちの市に住む中学生はどのような状況でしょうか。考えてみる一助になれば幸いです。

### ●あなたは、家事の手伝いを進んでしようとしていますか。

	2008年	2011年
・決まった手伝いがある	33%	32%
・いわれたらする	51%	57%
・ほとんどしない	16%	11%

### ●「男性は仕事、女性は家庭」といった考え方もありますがどう思いますか。

・そう思う	15%	19%
・そう思わない	51%	51%
・よく分からない	34%	30%

### ●生まれ変われるとしたら男性と女性どちらが良いですか。

・男性の方が良い	45%	37%
・女性の方が良い	13%	19%
・どちらでも良い	42%	43%
・無回答		1%



家事を「いわれたらする」が6ポイント上昇していることを考えれば、家事に協力する傾向があるように思われます。

「男性は仕事、女性は家庭」といった考え方については、「そう思う」が4ポイント上昇しました。また「生まれ変われるとしたら男性と女性どちらが良いか」については「男性の方が良い」が8ポイント低下し、女性の方が良いが6ポイント上昇しました。この結果から男女の役割を性別により固定的に考える意識が社会の中にいぜんとしてあるようにも感じられました。

こうした中、家庭教育・学校教育・地域社会・行政は女性と男性が対等なパートナーとして、あらゆる分野へ参画し、個性と能力を十分発揮する社会づくりをいままで以上に進めていく努力が大事であると感じました。

# 「語ろう・紡ごう、<sup>つむ</sup>“だんだん”の縁<sup>えにし</sup>を世界へ」

## 日本女性会議 2011 松江 10月14日(金) ~15日(土)



シンボルマーク  
日本女性会議松江が力強く飛翔  
発展する勇姿を象徴しました。

日本女性会議2011松江

この大会に約2,200名が全国から集まりました。内閣府男女共同参画局長、岡島敦子さんから第3次男女共同参画基本計画を力強く実施するための説明がありました。

その中で、男性も女性も、意欲に応じて仕事、家庭、地域社会など、あらゆる分野で活躍できる社会づくりのため、国はもとより、地方公共団体、民間団体、さらには国民一人ひとりが自らの課題と認識し、ともに連携しながら取り組んでいくことの大事さを話されました。

次の表(1)は、女性の政治や経済への参加の程度を示したものです。

日本はどの分野においても、女性の参画の拡大がさらに求められています。

男女が政治的意思決定過程に積極的に参

画し、ともに責任を担う。そして、多様な意思が政治や社会の政策や方針決定に公平に反映され、均等に利益を生活の中に取り入れることができるようにしていくことが大事であると考えられます。また、多様な人材の能力の活用の観点から、これからの経済を引っばる人として女性の役割を認識し、女性の経済活動の機会を新しく造り出し、拡大することが大事であると感じました。

表(2)は、埼玉県における女性の社会参画の割合を示したものです。国は2020年に30%を目標として、社会全体で共有し達成のために、官民挙げてとりくんでいくことが求められています。

2012年の「日本女性会議」は、宮城県仙台市で開催されます。

(表1) 女性の政治や経済への参加の程度

	対象の国の 平均値	日本 57位	ニュージーランド 10位	オーストラリア 20位	米国 18位	韓国 61位
国会議員の 女性割合	19%	12%	34%	27%	17%	14%
管理職の 女性割合	28%	9%	40%	27%	43%	9%
専門・技術職 の女性の割合	48%	46%	54%	48%	56%	40%
所得推計値の 男女比(※)	0.55	0.45	0.69	0.40	0.62	0.52

※男性を1とした場合の女性の比率

(2009年 国連開発計画から)

(表2) 埼玉県の女性の社会参画

### 女性議員の割合

県議会 9.9% (H12) ⇒ 5.6% (H21) ↘  
市町村議会 13.8% (H12) ⇒ 19.5% (H21) ↗  
両議会を合わせた女性議員の割合は、全国第3位です。

### 市町村教育委員の女性割合

埼玉県 19.8% (H13) ⇒ 36.7% (H21) ↗

### 職員の女性管理職の割合

県 3.5% (H12) ⇒ 5.2% (H21) ↗  
市町村 6.7% (H12) ⇒ 10.0% (H21) ↗

※県職員は知事部局のみ。

### 医師、歯科医師、薬剤師の女性割合

医師 14.8% (H12) ⇒ 17.8% (H20) ↗  
歯科医師 18.2% (H12) ⇒ 21.4% (H20) ↗  
薬剤師 70.3% (H12) ⇒ 69.1% (H20) ↘

(埼玉県県民生活部男女共同参画資料から抜粋)

# 「出会い ふれあい 思いやり」

## 第20回 埼葛人権を考えるつどい

第20回の節目を迎える「埼葛人権を考えるつどい」は、10月13日(木)、越谷コミュニティセンターに約1,500人が参加して開催されました。今年のテーマは、「出会い ふれあい 思いやり」で、大震災に苦しむ東北地方の人々への想いに満ちた集いとなりました。

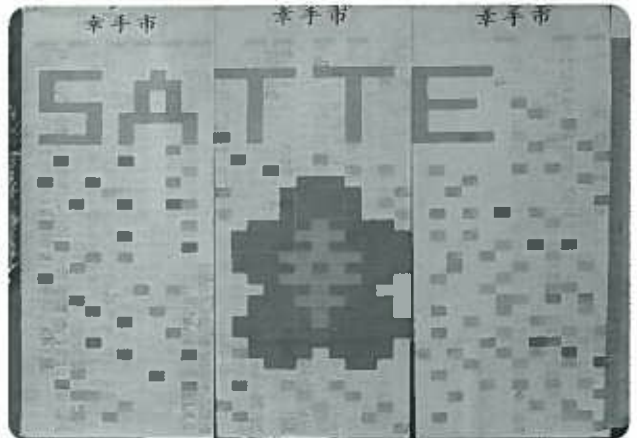
会場の周囲には、10万人メッセージとして、小・中学校の生徒が1枚1枚書いた人権に関するメッセージが掲示されていました(写真は、幸手市関係)。その内容は、やはり、学校での「いじめ」に関するものが中心ですが、今年の特徴は、東日本大震災に関するものが多くあったことです。

会場で参加者の関心を集めたのが、千羽鶴ならぬ「十万羽鶴」。これは、埼葛12市町の多くの人たちが、東北被災地の一日も早い復興への願いを込めて折りあげた折鶴10万羽で、「届け はばたけ 埼葛の鶴」とのコメントが添えられていました。

各市町の福祉施設からは、今年も多数の出店がありました。幸手市からは、「さくらの里」、「幸手学園」、「あやめ寮」などが手

づくりの商品を並べて参加しました。このほか、震災の被災地、大船渡市三陸町からは、「道の駅 さんりく」が参加、復興支援商品(数珠、Tシャツ)、海産物、みそ、酒類などの特産品が人気を集めていました。

大ホールと屋外ミニステージでは、数々の催し物が続き、全プログラムが終わると、全員で「ふるさと」を歌い、閉会しました。展示や催し物を楽しみながら人権を考えるこの集い、次回は、平成24年10月18日(木)、春日部市で開催されます。



幸手市の小中学校児童生徒3,730人の願いをこめたメッセージを貼りつけました。

## 第31回「幸手市健康福祉まつり」に参加して

平成23年11月5日(土)、私たち、幸手市男女共同参画推進協議会の8人のメンバー全員が、ウェルス幸手で29の協力団体と協力者によって開催された「健康福祉まつり」に参加し、PRと活動報告を行いました。今年で2回目の参加である私たちは、駐車場からの入場口に設けられた展示コーナーに、女性が明日を考えるため「日本女性はどう生きてきた？」をテーマに、15枚のパネルを掲示し、古代以前から現在までの、男女関係の変遷や、女性の権利の獲得がどのように進んできたかをわかりやすく紹介しました。

また、今年新たに公募した「イクメン・カジメン・料理パパ」への応募の写真作品を展示したところ、男性の家庭生活への積極参画が、見る人の心を温め、男女共同参画社会への実現に向けて手応えを感じました。

活動報告として、10月13日(木)越谷コミュニティセンターで開催された第20回「埼葛人権を考えるつどい」～出会い ふれあい

思いやり～に参加して、お互いの立場を尊重し、理解し合うことの大事さをあらためて学び、家庭、職場、地域で人権について考えるきっかけとなりました。

当協議会は、今後も情報紙「モア」を通して、市民の人権が尊重され、能力を発揮し、自主的に行動する幸手市をめざして啓発活動を進めていきます。



## ～企業が子育てを応援します～

従業員のご仕事と子育ての両立支援や、地域における子育て支援に取り組むことを宣言するのが、「埼玉県子育て応援宣言企業」です。仕事と生活を両立させていくワーク・ライフ・バランスの推進には企業の協力が必要です。

幸手市では27社（平成23年10月現在）が登録しています。今回第2回目として幸手都市ガス（株）を訪問してお話を伺いました。



◆平成19年12月28日登録（登録番号19639）

幸手都市ガス株式会社  
会社設立 昭和46年7月。都市ガス供給を中心とした事業。従業員22名うち女性2名

### ☆宣言内容は

- 育児休業者の代替要員を確保し育児休業が取得しやすい職場環境づくりを進める。
- 育児のための急な休みにも対応できる業務体制づくりを進める。
- 子育てのための年休取得を奨励する。
- 子供の社会見学を積極的に受け入れる。



### ☆実施状況は

現在のところ、男性の育児休業の申請や相談はないが、希望者が出てくれば許可します。また育児のための急な休みにも対応できる業務体制をとっています。子育てのための年休取得も奨励中です。

一方、地域における子育て支援の面では、子どもの社会見学として、小学校での「総合的な学習」（ガス管とガス弁の仕組みと使用方法）のお手伝いをしたり「竹とんぼ教室」を開いたりしています。中高生対象ではガス知識を講習し、ガスホルダーにのぼる体験を提供したりしています。職場体験学習や各自治会のお祭りにも積極的に参加し、地域における子育て支援に寄与しています。

「今後とも『埼玉県子育て応援宣言企業』として、『仕事と子育ての両立支援』に取り組んでいきます。」という力強い

お話でした。

取材のご協力をありがとうございました。

（取材日 平成23年12月）

## ときめき感動の時～中学時代の同窓会～

毎年、待ちに待った中学時代の同窓会を兼ねた秋の旅行会案内が担当幹事より届き、嬉しい人生の1ページが始まります。

卒業後20年、初めて開かれた同窓会に出身地の柏崎第二中学校を訪れた時、約200名近い同窓生に出会い、懐かしさでいっぱい！5年ごとに故郷の当地で集まり、5クラスの先生方にもお目にかかり、当時を振り返った思い出話で盛り上がり全員が感動に浸りました。

更に20年後、米山が見える地域にちなみ「米峰会」が創立されました。昨年は10周年記念の為、2泊3日の旅行を予定していましたが、未曾有の東日本大震災

が発生した事により1泊旅行に。でも皆、満足感を！男女の集まりの中、あらゆる面の話が飛び出し、私が、特に感じたことは、国際結婚した女性の国・デンマークを訪れた時です。デンマーク人の夫が妻とともに、私たち女性をコペンハーゲンとスウェーデンのストックホルムに案内していただいたことです。そんな中、話題も「貴女方の夫は、今どうしているの？」と問われ、男女ともに行動する社会性を強く感じました。

また、この国は、女性の議員数も多いと聞き、心豊かな男女共同参画社会が日本でもどんどん広がっていく事を望んでいます。

## 輝きコーナー我が家の場合

幸手市で唯一、酪農を営んでいる（現在、成牛32頭・育成牛10頭）惣新田にお住まいの伊藤満浩さん（49才）と弘子さん（51才）ご夫婦にお話を伺いました。

ご両親が昭和30年代に始めた酪農を継ぐために大学で農業を学び、卒業後は直ぐに手伝いに就いたという満浩さんはその後、農業後継者の集まりや4Hクラブなど県の役員としても多方面で活動しました。当時、参加した青少年育成海外派遣で知り合った弘子さんは県の青少年相談員として活躍していました。実家はさいたま市でお豆腐屋さんを経営、そして縁あって結婚、早23年に。

「初めはまったく環境が違うので本当に戸惑いました。3人の娘達を育てながら家事・仕事と無我夢中で今まであつという間！でも、何をやるのにも夫と一緒にお互い協力しあえたので良かったです。それほど大変だと思っただことはありません」と話してくれました。



現在の日課は、満浩さんが朝6時から牛舎の掃除や搾乳に取り掛り、家事などを済ませた弘子さんが手伝い始めるのは8時頃。仕事が終わるのは10時半。それから二人で朝食。午後は、外仕事のあとに4時の昼食を。夕方5時から8時まで2回目の搾乳のあとに夕食と、毎日時間に追われた忙しい生活を送っています。

そんな中でも、成長した子ども達も手を離れ、酪農ヘルパー制度の利用、合間をみてお互いに趣味の時間などを持ち楽しんでいるとのこと。

ご両親は、今では酪農をお二人に任せ、野菜作りに精をだして元気なのは何よりもありがたく、「家族揃って今が一番充実した毎日です」と最後に語っていただきました。

## 講演会聴講報告

平成23年7月3日(日)私たち委員は、さいたま市新都心にある埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)で開催された、男女共同参画週間講演会に参加しました。当日は、「災害で見えてきたこと～阪神淡路大震災から東日本大震災の中で」というテーマで辛淑玉(しんすご)さんという人材育成コンサルタントを講師に迎えて行われました。

在日韓国人である自らの体験を通して、災害で見えたさまざまな「差別」について聴く人の心に訴えかけました。被災された人の体験を焦点にしたお話しは、本音ではっきりと話され、考えさせられる内容でした。

最後に、これからの日本を発展させるには最高学府である大学を卒業しても社会に十分生かされていない、更なる女性の活躍こそ日本が飛躍する「鍵」であるとお話しされました。

## 表紙の書

書家かんちさんは、世界初の「かんち人文字」・「かんち浮遊文字」の作者です。

色々な漢字に顔(時には手や足)がある人文字や立体的あるいは浮かんだように見える浮遊文字を創作しています。今回の作品は「女と男の絆」です。

## ● ● 編 ● 集 ● 後 ● 記 ● ●

幸手市男女共同参画推進協議会委員に委嘱され、初めての仕事は、ウェルス幸手にて「幸手市健康福祉まつり」に出品する作品の作成です。これは委員全員で分担して、和気あいあいの中での作業になり、私はこれが正に男女共同参画のあり方と実感しました。

その後何回かセミナーを開催しているうちに、自分もこの輪の1人として協力して明るく、住みやすい社会の実現に向けて貢献できればと心から願っています。

男女共同参画社会について疑問、関心を持っていただければ幸いです。何かお気づきの点がございましたら事務局までお寄せ下さい。